

平成26年度通常総会報告

長崎県技術士会 会長 山口和登

6月14日諫早市のホテルセンリュウにて、平成26年度通常総会を開催し56名の会員出席（欠席者の委任状は29名）のもと無事終了しました。その後日本技術士会長崎県支部設立年次大会、日本技術士会九州本部の沼尻副本部長、長崎大学の岡林名誉教授を講師に招いてCPD研修会を開催し、引き続き交流会（長崎県支部設立祝賀会兼）を開催し盛会に終わることができました。今回は日本技術士会長崎県支部設立年次大会との同時開催としました。長崎県支部設立年次大会関係は毎熊支部長が詳細に報告されていますので、そちらをご参照ください。ご協力ありがとうございました。

総会の議事内容については参加会員各位に周知済みでありますので、ここでは不参加会員を考慮して総会の状況をご報告申し上げます。

総会は川村副会長の総会成立（会員の5分の1以上の参加）宣言の後、第1号議案から第5号議案の審議が行われました。

1. 総会議案

第1号議案：平成25年度事業報告

原案の通り承認：

25年度の主な実績は、①役員会の年6回の定期開催1回の臨時開催 ②総会時の研修会、長崎地盤研究会の勉強会・ジオラボの後援団体として年5回の研修会、年1回の現場見学会への参加 産業基盤維持管理技術研究会の講演会（1回）見学会（2

回）への参加 ③機関紙の年4回発刊、会員名簿25年度版の作成（350部）会員及び関係機関に配布 ④会員の増強、平成26年6月現在の会員数157名（9名の新入会員） ⑤その他、ながさき建設技術フェア2013の後援、NPO技術フォーラム懇話会及び長崎県測量設計業協会の技術講習会への講師派遣などです。具体的には長崎県技術士会のホームページの活動状況報告を参照してください。

第2号議案：平成25年度収支決算、会計監査報告

原案通り承認：

具体的な金額等はここでは省略しますが、必要な会員には開示いたします。

第3号議案：平成26年度事業計画（案）

原案通り承認：

26年度の主な計画は、①役員会の定期開催 ②長崎県技術士会・日本技術士会長崎県支部共催の研修会の年2回開催、県技術士会・県支部共催の現場見学会の開催③ジオラボ（長崎県技術士会後援）への年5回の勉強会参加、年1回の現場見学会参加、産業基盤維持管理技術研究会の講演会、見学会参加 ④機関紙の年4回の継続発刊、会員名簿の昨年同様の350部作成配布 ⑤他技術機関との連携 ⑥県技術士会の活性化、積極的な会員募集、増員等です。尚、技術士試験の願書配布等は昨年同様に日本技術士会の方針に基づき今年度も実施しないこととしました。

第4号議案：平成26年度収支予算（案）

原案通り承認：

具体的な金額はここでは省略しますが、必要な

会員には開示いたします。

第5号議案：長崎県技術士会役員変更（案）

原案通り承認：

今年度は役員非改選の年であり、小規模の変更で大東顧問の退任と、日本技術士会九州本部長崎地区幹事であった山口昭光氏の理事就任の案が審議され承認されました。なお、役員構成は長崎県技術士会の平成26年度版会員名簿及びホームページに掲載していますのでご参照ください。



写真1：H26年度通常総会

2. CPD研修会

演題①：技術士倫理

講師：日本技術士会九州本部副本部長
沼尻健次 氏

演題②：長崎県の近代化遺産－

近代化を支えた土木技術者達－

講師：長崎大学名誉教授 岡林隆敏 先生

3. 交流会（支部設立祝賀会兼）

研修会終了後、ホテル内の別室で交流会を開催しました。新入会員5名、岡林先生、日本技術士会関係者を含む63名が参加し、県支部新任役員の挨拶、そして会員相互の情報交換など楽しい交流会となりました。

以上総会報告を行いました。

事業計画の中でも述べていますが、長崎県技術士会会員の更なる倫理の啓発、資質の向上、品位の保持に努め、技術士制度の理解と技術士の知名

度・地位向上、活用促進、そして会員増加を図り、地域の発展と活性化に資する会へと発展させるよう努力いたしますので、会員各位のご協力、ご理解、ご指導をお願いいたしまして総会報告とさせていただきます。

日本技術士会九州本部長崎県支部設立年次大会報告と御礼

長崎県支部 支部長 每熊 元

7月に入り、暑さも厳しさを増しておりますが、県技術士会、県支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと存じます。

平成25年6月に代表幹事に推されて以来、県技術士会、日本技術士会県支部の会員の皆様方に、会の活動にご協力頂き感謝申し上げます。

支部設置の経緯につきましては、今までその都度報告して参りましたが、改めて確認しますと、
◎平成25年9月17日に支部設置アンケートの実施。2/3の皆様から同意を得る。

◎平成25年11月7日、6割の同意を頂いた発議書を統括本部（東京）へ提出。

◎平成26年1月9日に統括本部理事会において長崎県支部設置が決定される。

◎その後、県技術士会役員11名の方に立候補をお願いし、3月5日に開票信任される。

◎4月12日、不肖私が推薦され九州本部により支部長の承認がなされる。

◎5月17日、「長崎県支部の運営についての手続き」（規約）が九州本部から承認される。

以上により、長崎県支部設立年次大会、記念講演、設立祝賀会を長崎県技術士会の協力を得て、合同で6月14日（土）、ホテルセンリュウ（諫

早市)に於いて開催することができました(写真2)。



写真2：設立年次大会

式典に於きましては、ご来賓として、国土交通省長崎河川国道事務所長の木村康博様、長崎県土木部長代理で建設企画課長の田口陽一様には、丁重なご挨拶を頂戴し、心より御礼を申し上げます。

また、日本技術士会統括本部から、佐竹芳郎副会長、九州本部から甲斐忠義本部長、ご両氏の祝辞を頂き、誠にありがとうございました。そして多くの長崎県技術士会会員、日本技術士会長崎県支部会員を含めて、総勢64名の皆様に参加を頂き、盛大な式典ができましたことに心から感謝を申し上げます。

記念講演(CPD研鑽会)におきましては、九州本部副本部長の沼尻健次先生による「技術士倫理」について、また長崎大学名誉教授の岡林隆敏先生による「長崎県の近代化遺産—近代化を支えた技術者たち—」について、両講師による格調高い講演により、設立大会に華を添えて頂き、大変感謝しております。設立祝賀会(写真3)には、年次大会出席者のほとんどの方に参加いただき、大変うれしく思っておりますとともに、有意義な交流の場となったと思います。

申すまでもなく、技術士会は、21部門専門分野からなる異業種で構成される組織でありますが、今後長崎県支部に於きましては、会員の一層

の倫理の啓発、資質の向上、品位の保持に努め、技術士制度の理解と技術士の知名度・地位の向上、技術士の活用促進、会員の増加を図り、地域の発展・活性化に資する会へと発展させて参る所存です。特に、継続研鑽、異業種交流の場となるように努めて参ります。



写真3：設立祝賀会

これまで長崎県内における日本技術士会活動は、長崎県技術士会の役員の中から日本技術士会長崎地区監事を兼ねて役割を担って参りました。

設立後の活動につきましても、今までどおり「長崎県技術士会」と連携協力して活動して参ります。

これまで長崎県内における技術士の活動にご支援頂きました皆様にお礼を申し上げますとともに、会員皆様のご健勝ご発展を祈念申し上げ、新たに発足致しました長崎県支部の活動に、益々のご支援を賜りますようにお願い申し上げ、お礼を兼ね、ご報告とさせて頂きます。

長崎県技術士会現場見学会報告

報告者：園田直志

長崎県技術士会及び日本技術士会長崎県支部共催のCPD行事として平成26年5月20日に「野母崎海の健康村1600m温泉井戸掘削現場見学会」が開催されましたのでここに概要を報告します。

当日は、大雨の中にも関わらず午前11:00

に現地集合し、会員ほか19名の方々が出席されました。山口会長の丁寧な現場説明を聞きながら温泉ボーリング掘削現場や大規模な現場プラントを40分ほど見学しました（写真4）。



写真4：ボーリング掘削現場

引き続き健康村の会議室で現場資料の説明を受け、昼食は、健康村の安くて新鮮な魚定食を食し、午後から下記CPD講演2演題の講義を受講しました（写真5）。

（演題1）：最近の温泉事情

講師：山口和登 技術士（応用理学部門）

（演題2）：長崎港周辺の文化財-軍艦島について

講師：長崎大学名誉教授 岡林隆敏 先生

演題1は、温泉の開発、管理、運営等について最近の温泉法の改正などを交えて、日本人の温泉好きと観光事情などを技術士の視点からの考察や

興味深い内容を学習しました。



写真5：研修状況

演題2は、最近歴史遺産として有名になってきた軍艦島を筆頭に長崎港周辺の様々な近世の土木史跡、長崎市の近代産業遺産や歴史についての講義がありました。長崎市民の多くは、幼少から陸上からの長崎の歴史教育を受け生活していますが、海上の視点から長崎の歴史をソフト、ハードの面から見直す良い機会になりました。世界遺産としての長崎の近代化産業遺産登録運動は、県外からの観光客誘致も大事であるが、地元長崎市民がリピーターとして訪れたくなるような史跡のあり方が大事であると講義されました。確かに他地区の世界遺産登録運動状況を見ても、まずは地元市民からの自発的な運動と広報が重要な事と感じた次第です。

※ 機関紙発行担当者より

長崎県技術士会平成26年度版会員名簿の編集・製本の準備を進めています。7月中には会員の皆様にお届けする予定です。今年度の会費未納の方には振込用紙を同封しますのでよろしくお願ひします。日本技術士会長崎県支部が設立され、当広報誌も長崎県技術士会広報内容と日本技術士会長崎県支部の内容が重複するものが多くなっています。日本技術士会広報誌には、「PEJ技術士」と九州本部の「技術士だより・九州」があります。電子情報が溢れる昨今ですが、活字の情報は確実に伝え、記録に残る情報でもあります。会員の皆様の情報誌として発行しますのでご意見等あれば、下記へお願ひ致します。

園田 直志

N.ソノダ技術士事務所

〒852-8021 長崎市城山町2-4

TEL 080-3226-7200 FAX 095-861-8279

Email: sonoda_naoshi@icloud.com

松本 守

(有) 創拓エンジニアリング

〒852-8041 長崎市清水町2番4号 FGEX 長崎ビル3F

TEL 095-849-1781 FAX 095-849-1749

Email: so_matu@d2.dion.ne.jp